

MMS 研究会第 4 回幹事会議事録〔案〕

日時：2003 年 3 月 7 日（金）13 時 00 分から 17 時まで

場所：インダストリアルホール（神田淡路町）

出席者：矢嶋、林、中嶋、杉木、大山、鈴木、兵庫、田中、宇野、馬場、浜田、浅野（順不同，敬称略）

議題 1：第 4 3 回定例会開催プログラム

世話人の宇野さん（三菱ウエルファーマ）から概略の説明があった。

会期：2003 年 6 月 13 日（金）午後 2 時から 14 日（土）12 時（予定）

場所：ホテル一宮シーサイドオーツカ（千葉県、外房）大会議室、小会議室 3 部屋を押さえてある。

参加費は 7000 円程度とする。（宿泊費、食事は別）

参加人数を出来るだけ早く把握したいので、4 月中にアナウンスを MMS ニュースに載せる。また参加申込みは MMS のホームページから直接できるようにする。

会場へのアクセス：外房線上総一ノ宮駅までは東京から特急で 1 時間、駅からはホテルのバスの送迎あり。車での来場も可（無料駐車場あり）

PHS 電波は届かないので注意とのこと。

プログラムについて：

海外招待講演

生殖細胞でのコメットアッセイをされている米国ワシントン大学の Singh 教授の招待について。

2 月半ばにインドで開催されたコメットアッセイのワークショップに参加された林 JEMS 会長、田中庶務担当理事より、コメットアッセイの草分け的存在のシン教授の MMS 研究会への招待の話があり、2 月 18 日に田中会員から来日の可能性を打診してもらった。3 月 6 日現在返事はなく、詳細は決定できなかったが、来日が可能なら、渡航費ならびに国内滞在費を MMS で負担し、招待することを決定した。

特別ゲストとして、講演の他に、

- 1) 生殖細胞でのコメットアッセイのビデオワークショップ
- 2) コメットアッセイに興味をもつ少人数でのセミナー
- 3) Wet workshop の開催

が考えられたが、3) については場所の確保と応援スタッフの確保が困難、また日程的にも難しいので、今回は見送ることとした。

3 月 10 日にシン教授から返事があり、6 月の来日は不可能であることがわかった。

ハイスループット化に関するシンポジウム

会員には興味深いハイスループットに関するミニシンポジウムを開催する。

シンポジストとして森田会員（GSK）、宇野会員（三菱ウエルファーマ）、兵庫会員（三共）および VitoTox の開発元 Labsystems 社（フィンランド）

国内 3 名については OK であるが、開発元には事務局から販売元の大日本製薬を通じて要請する（来日の経費は開発元で負担してもらうように交渉：交渉は事務局担当）。

（3 月 27 日に Dr. Jorma Lampinen の来日が決定した）

このハイスループットの話は BMS 会員にも興味があると思われるので、中嶋幹事から BMS へのアナウンスをお願いする（この場合に本シンポのみの聴講も歓迎する。ただし、参加費としては 3000 円程度とする）

シン教授の来日がかなわない場合のサブテーマ

1) 食品添加物のリスク評価について

現在問題となっている食品添加物の安全性のリスク評価の現状をコウジ酸について、データおよびその解釈について討論する

演者には長尾先生が適当か。

2) 医薬品の不純物について、ICH および当局の現状について：演者には島田さんが最適。

退職記念講演

MMS 研究会の設立当時から活動されている一ツ町会員、澁谷会員が 2003 年中に退職されるので、今までの仕事の軌跡をお話いただき、MMS の歴史を振り返り、今後の指針とする。澁谷会員には田中さんから、一ツ町会員には浅野からお願いする。

議題 2：幹事選挙について

1) 被選挙権のない会員：鈴木幹事、杉木幹事、宮前幹事

2) 選挙管理委員には会則に従い、矢嶋会長（委員長）、鈴木幹事、杉木幹事を選出した。
（宮前幹事は米国へ転勤されるので選外とした）

3) 今回の選挙から電子選挙を実施する

有権者は 2000 年以降の会費を納入している会員とする

選挙の告示前に会費の納入状況を未納会員へ知らせ、有権者を増やす。

（事務局から 3 月中に email で連絡する）

幹事選挙の告示日：4 月 14 日（月）

選挙の〆切日：4 月 25 日（金）

投票していない会員には 4 月 22 日から 23 日にかけて督促メールを出す。（webmaster から）

開票：5 月 8 日

電子的方法の概略

webmaster から会員個人へ ID とパスワードを配布する

MMS ホームページから ID とパスワードを入力した後、**5 名連記**で候補者名を入力する。

ホームページから選挙管理委員へ直接投票結果が送信される。

（webmaster には投票状況のみが把握出来るシステムを構築し、同一会員から複数回の投票が出来ないように投票後はロックがかかるようにする。また未投票の場合は督促が可能にする）

各選挙管理委員は投票結果を集計し、自分以外の 2 名へ結果を送信する。（5 月 8 日）

3 名相互に集計結果を照合し、間違いのないことを確認して、幹事を選出する（会則に従う）

選挙管理委員長は選出された幹事に受諾の可否を確かめる。

43 回定例会の開催日に新幹事と現幹事による新旧合同幹事会を開き、新幹事の互選により会長を選出。選出された会長が庶務、会計幹事ならびに若干名の会長指名幹事を選ぶ。

議題3：共同研究について

1) 幼若ラット肝臓小核 世話人代表：鈴木洋氏（イナリサーチ）

第3回の共同研究参加者を募集。参加機関は安評センター、花王、キッセイ薬品、北興化学、イナリサーチの5機関であった。再度募集し、参加機関を増やす。

幹事会の議事録とともに再募集の案内をメルマガに載せる

今回の検討化合物：Safrol, DAB (p-dimethylaminoazobenzene), DEHP [di(2-ethylhexyl)phthalate]

白鳥前世話人代表のデータについては論文化する

方法論的のまとめで1報、化合物のデータを含めて1報とし、最低2報を投稿する。

この共同研究の会計については会計幹事が調査確認する

2) トキシコジェノミックス

理研のアレイの完成が遅れ、いまだ理研のアレイを使ったデータが出せない。

本来、理研のアレイを無料で利用できる見返りとして、動物の実験のデータをMMSから提供するはずであったが、アレイの作製に予想以上の時間がかかり現在も目処が立っていない状況である。一度整理し、今後の方向性を確認する必要がある。

3月10日に世話人会を医科研で開催予定

3) 皮膚小核試験

海外2機関の参加希望があり、現在調整中

今後は「光」との関連で進める必要がある。

4) トランスジェニック

現在論文3報のドラフト完成

残り2報も今年中には完成予定

5) ヒト細胞

ヒトS9の沈殿対策が必要。沈殿により試験がうまく進まない機関もあるようだ。

データについてはまだ世話人代表へ集まっていない。

議題5：ホームページについて

今後ニュースのメルマガは本文をホームページに載せ、掲載されたことをメールで知らせることにする。

ホームページを開いて読んでもらい、掲示板への活発な書き込みや討論がしやすい環境を作ることとした。

文責 浅野（事務局）